

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢 鈴木
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519
事務事業名	10672 道路改良事業（活力創出基盤）											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	06033300 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	010000 道路改良事業（活力創出基盤）										
事業目的						事業概要・効果						
社会資本整備総合交付金の活力創出基盤事業を活用し、幹線道路を重点に整備することにより、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						幹線道路は国道や県道及び学校、病院、産業団地等の公益施設並びに地域に形成されているコミュニティ相互を連絡し、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
①高梨宮川八重森線L=120m②園芸高校井上線L=500m③常盤町下八町線L=241m④高梨小島線L=291m	①舗装長寿命化修繕計画策定②園芸高校井上線L=500m③常盤町下八町線L=200m用地・補償④高梨小島線L=291m⑤米持東中学校線ほか2路線L=400m測量設計⑥橋梁長寿命化修繕事業⑦橋梁点検⑧坂田原滝ノ入線
平成29年度 予定	平成30年度 予定
①舗装長寿命化修繕計画策定②常盤町下八町線L=200m③押堀橋新田線L=100m④米持東中学校線ほか2路線L=400m用地補償⑤橋梁長寿命化修繕事業⑥橋梁点検⑦トンネル点検⑧坂田原滝ノ入線	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	改良・修繕事業延長				
算式					単位 m
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1,300	700	0	0
	実績	1,391			
指標選定の理由	緊急度及び財源等から事業実施計画を策定				
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		205,787	230,120
特定財源	国庫支出金	103,015	126,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	76,421	84,000
	その他	0	0
一般財源		26,351	19,620
人員数(人)	正規職員	1.9	2.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	13,716.1	18,769.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	13,716.1	18,769.4
市民一人当たりの経費		4.2	4.8
総額		219,503.1	248,889.4

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	39,391	工事委託、測量・設計委託
15節 工事請負費	141,723	改良・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	24,673	立木等補償

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	43,030	測量・設計委託
15節 工事請負費	87,540	改良・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	99,550	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	交差点改良、歩道設置など安全性が向上している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コスト削減等考慮している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
補助事業で実施しており、予算の確保が必要

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源を確保し、引き続き関係地権者と用地取得や補償物件等について交渉し、随時調印を行う。工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		活力ある地域を創出するため、財源を確保するとともに、都市基盤整備を計画的に進め、幹線道路の交通体系を充実させていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	